

国民の生命と財産を守る、電気電子・通信・情報のスペシャリスト!!

[防災・減災]

災害時の被害を減らすため、
電気通信設備が必要不可欠
～専門知識を活用し設備を構築～



※Photo/噴火直後の御嶽山の様子
(防災へり まんなか号より平成26年9月27日撮影)

[災害対応]

災害が発生した時、真価が問われる
～限られた資機材で様々な対応を実現～



被害を減らすため
雨量・河川水位の情報を収集

適切な水量調整を行うための
ダム放流設備

道路や河川の状況を把握
カメラ設備

全ての設備に不可欠な
電源の確保

災害現場の状況を監視
監視カメラの緊急設置

災害現場の状況を伝達
衛星通信回線を構築

関係機関との連携
監視カメラの映像を共有

CONTENTS

- ・ 防災・減災 _____ P. 3,4
- ・ 災害対応 _____ P. 5,6
- ・ 施設整備 _____ P. 7,8
- ・ 研修・訓練 _____ P. 9,10

はじめに... First



企画部
情報通信技術調整官
松浦 孝昌

情報通信技術を中部の未来のために

近年激甚化している自然災害等や人口減少の進行、社会資本の老朽化など、我が国を取り巻く環境が大きく変動しており、国土・社会インフラ管理について新たな時代への適合が求められています。こうした中、電気・通信・情報分野の技術を活用して大きな役割を果たすことへの期待が高まってきています。私たちは、各職員が持っている知識・技術・経験を結集し、社会資本の課題克服、そして高度化、効率化に寄与し、地域の安全・安心の確保や豊かで活力のある地域づくりに貢献していきます。